

2023年12月28日

中外炉工業株式会社  
大阪市中央区平野町 3-6-1  
TEL 06-6221-1251

**近畿経済産業局 HP「関西における水素関連企業データ集」に  
当社の水素燃焼技術が掲載されました**

この度近畿経済産業局のホームページにてご案内されている、関西に拠点をもち水素分野に参入された企業の一例を紹介するデータ集において、当社の水素燃焼技術を紹介いただけることとなりました。

今後も中外炉工業では脱炭素化をはじめとする注目テーマの熟技術および各種製品をご理解いただけますよう、情報提供に努めてまいります。

**<掲載ページ>**

[https://www.kansai.meti.go.jp/5-1shiene/smart\\_energy\\_initiative/hydrogen\\_data/index.html](https://www.kansai.meti.go.jp/5-1shiene/smart_energy_initiative/hydrogen_data/index.html)

**<中外炉工業紹介 PDF(864KB)次葉参照>**

[https://www.kansai.meti.go.jp/5-1shiene/smart\\_energy\\_initiative/hydrogen\\_data/38\\_chugairo.pdf](https://www.kansai.meti.go.jp/5-1shiene/smart_energy_initiative/hydrogen_data/38_chugairo.pdf)

以 上

# 中外炉工業株式会社

製造

輸送・貯蔵

利用

水素関連  
製品の  
研究開発・製造

部品・  
材料

評価・  
分析

工事・  
建設・  
施設  
管理

ここに注目！

1945年創業の工業炉および工業炉用バーナの総合エンジニアリングメーカー。カーボンニュートラルに貢献する脱炭素燃料の燃焼技術や電熱技術に加え、EV化対応に向けた半導体・蓄電池材料等の機能材料の製造装置、ゼロエミッションに向けた資源循環プロセスの提案も行っています。



▲熱技術創造センター

当社は熱技術を核として新しい価値を創造し、これを通じて社会に貢献するとともに企業の繁栄と社員の幸福の実現を理念としています。当社の事業分野である工業炉から排出されるCO2量は、国内総排出量の約17%を占めており、カーボンニュートラル実現に向けた脱炭素化が急務となっています。その課題解決を通じて大手自動車メーカーと共同開発した水素燃焼バーナは、脱炭素社会への貢献とイノベーションを象徴する技術として市場展開しています。これからも工業炉および工業炉用バーナの分野からカーボンニュートラル達成に向けて貢献してまいります。

## 技術・サービスの強み

戦後より鉄鋼、自動車産業の発展の礎として、工業炉メーカーとして鍛造炉、熱処理炉、乾燥炉などを市場に展開してきました。オイルショック以降においては、省エネルギー燃料技術を開発し、あらゆる産業分野の熱技術に貢献してきました。長年、熱技術であらゆる産業界に貢献してきた当社が、温室効果ガスの削減に寄与すべく熱技術を開発することから、水素、アンモニアを燃料としたカーボンニュートラル燃焼技術を開発し、市場展開を推進しております。



▲実体加熱実演炉



▲ラジアントチューブバーナ式水素燃焼式熱処理実証炉

## 導入事例・実績

2018年に世界初の汎用水素燃焼バーナとして、大手自動車メーカー様と共同開発を終え、水素インフラ網の拡充に伴い納入実績は増えつつあります。ラジアントチューブバーナ式水素燃焼炉の製品化も終わっており、引き続き水素燃焼式工業炉の展開を進めて参ります。

## 事業計画

カーボンニュートラル、持続可能な社会の要求に応えるべく、汎用水素バーナの実装展開のみならず、アンモニア燃焼、電化等、お客様のニーズお応えするために、CO2排出量削減に向けた製品開発をスピードアップしてまいります。

## 企業プロフィール

所在地：大阪市中央区  
平野町3丁目6番1号

代表者：尾崎 彰

資本金：61億円7600万円

設立：1945年

T E L：06-6221-1251 (代表)

## 担当部署

部署名：商品開発部

T E L：072-247-2371

e-mail：Web\_Master@n.chugai.co.jp